

# エミダス会員 第2回景況感アンケート

調査時期 令和2年9月16日(水)～9月26日(土)  
調査方法 WEB  
回答事業者数 295件

## 【総評】

第二回目の景況感アンケートは日本国内に事業所を保有するエミダス会員に協力頂き、295社回答を得た。第一回目（調査時期6月中）と比較し、好不調の業種に差は大きく見られないが、自動車・インフラ業界に関しては若干好転の動きがみられる。

受注状況についても前回同様、企業によって好不調の差が続いているが、2～3カ月先の受注予測については一部回復の動きが見られる。

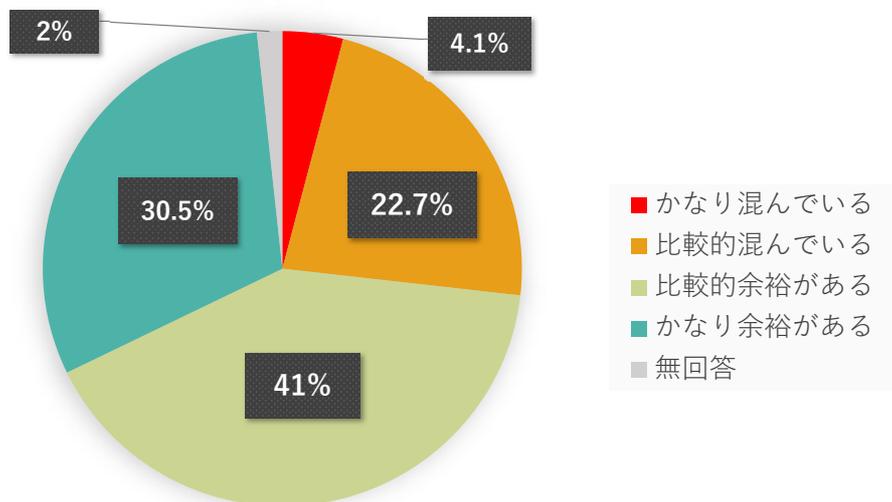
また今回のトピックスは、前回の問い「解決したい課題」で回答が集中した「付加価値を認めてくれる取引先の開拓」について、今回更に深掘した項目を追加。

その結果、「企業の付加価値」について、約60%が「技術力」「高品質」、次いで「短納期」（43%）「提案力」（37%）となった。

また、自社の付加価値に対し適正価格で仕事を請け負っている会社が約半数に達する事がわかった。詳細については個別の結果を参照。

## Q1 工場の稼働状況

「かなり混んでいる」「比較的混んでいる」の合計は前回比5%アップ。  
一方で「かなり余裕がある」は前回比8%ダウンとなり、全体としては好転している。  
更に回答者別にみると、小規模企業（従業員規模1～5人）が前回に続き「余裕がある」に回答が多く、企業規模による復調スピードの差の可能性が考えられる。



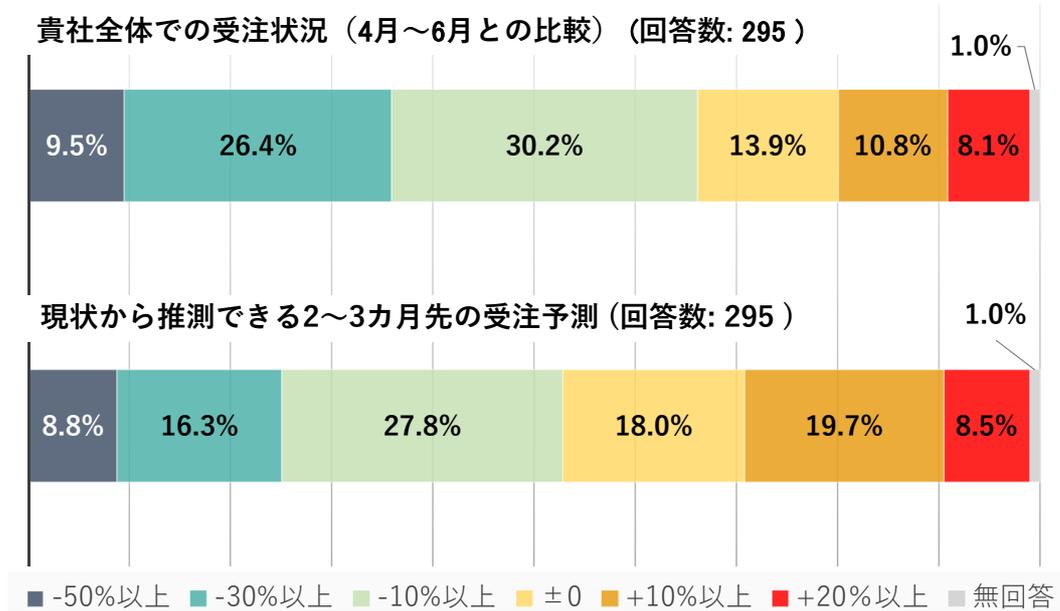
## Q2 直近の受注及び予測

前回比で見ると減少傾向は若干改善していると言える。

前回マイナスと回答している企業（約70%/220社）の殆どは今回も同様にマイナスと回答。

しかしながら今後の「受注予測」については上記の内、約30%（約70社）はプラスに転じると予想し、一部企業は回復の兆しが見えている。

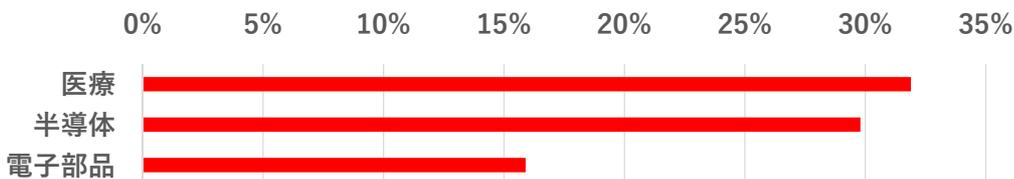
一方で更に厳しい状況の会社も35%（約80社）となり好不調が大きく二極化している。



## 景況感

自動車業界が前回1.9%に対し、今回11.9%と10%復活。またインフラ業界も約15%に好転。医療、半導体業界は引き続き好調である。

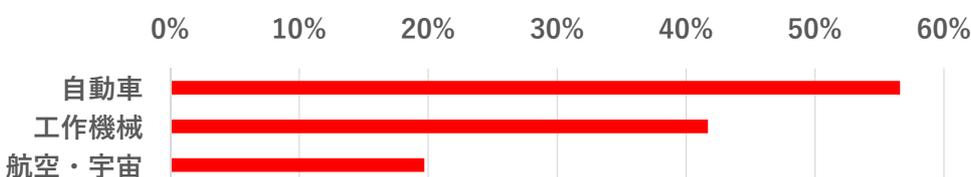
### 好調な業界（複数選択可 回答数: 295）



自動車、工作機械の2業界が前回同様不調な業界TOP 3に入った。

しかしながら複数回答における「不調な業界」の全体回答件数の減少や、自動車業界においては「好調」に転換している点もあり一部復調の兆しがある。

### 不調な業界（複数選択可 回答数: 295）



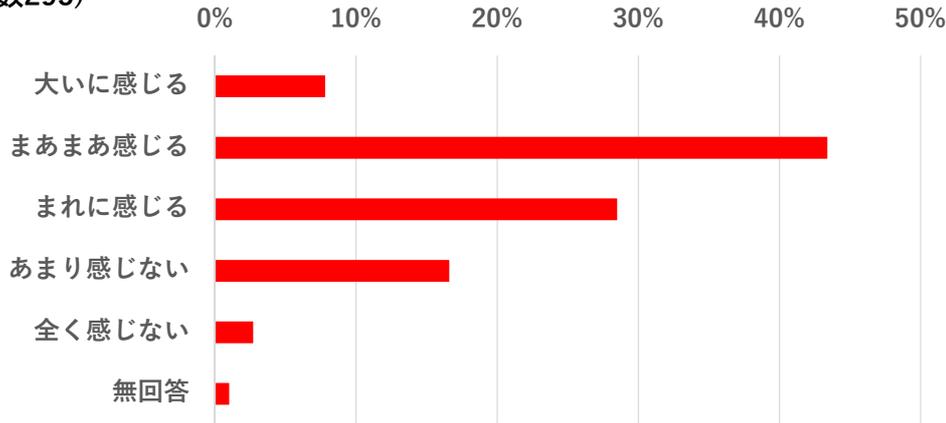
## Q3企業の付加価値

各社の保持する「企業の付加価値」は、約60%が「技術力」「高品質」、次いで「短納期」（43%）、「提案力」（37%）となった。

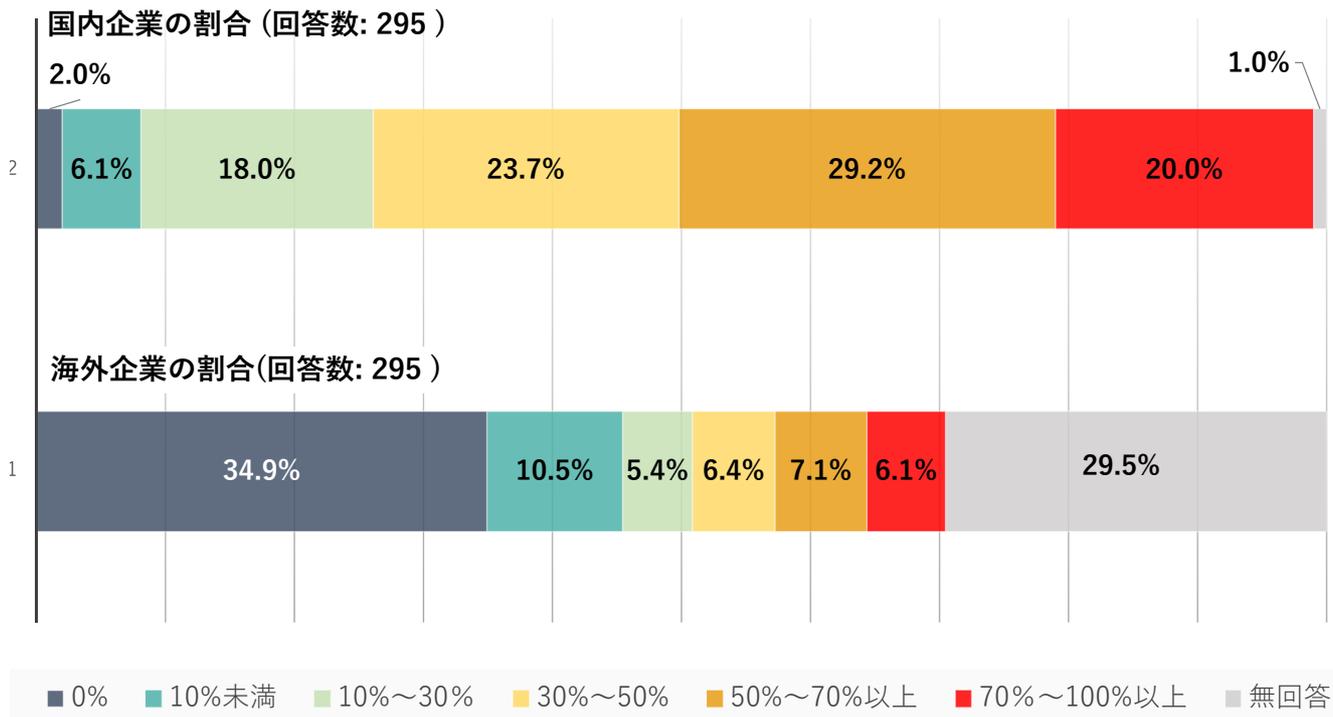
更に、これら取引先との出会いのきっかけとして「過去からの継続取引」が圧倒的に多く、一方で展示会やインターネット経由もそれぞれ約30%に達しているが、withコロナの状態が今後も続き短期的には展示会の機会が減ることが予想される中、インターネットやSNSなどのオンラインと展示会などリアルな場所のより緊密な連携（OMO=Online Merges with Offline）が重要視されると考えられる。

今後は「企業の付加価値」についてもう少し掘り下げ、付加価値向上に向けた具体的な取り組み内容や企業事例などを皆様と共有していきたい。

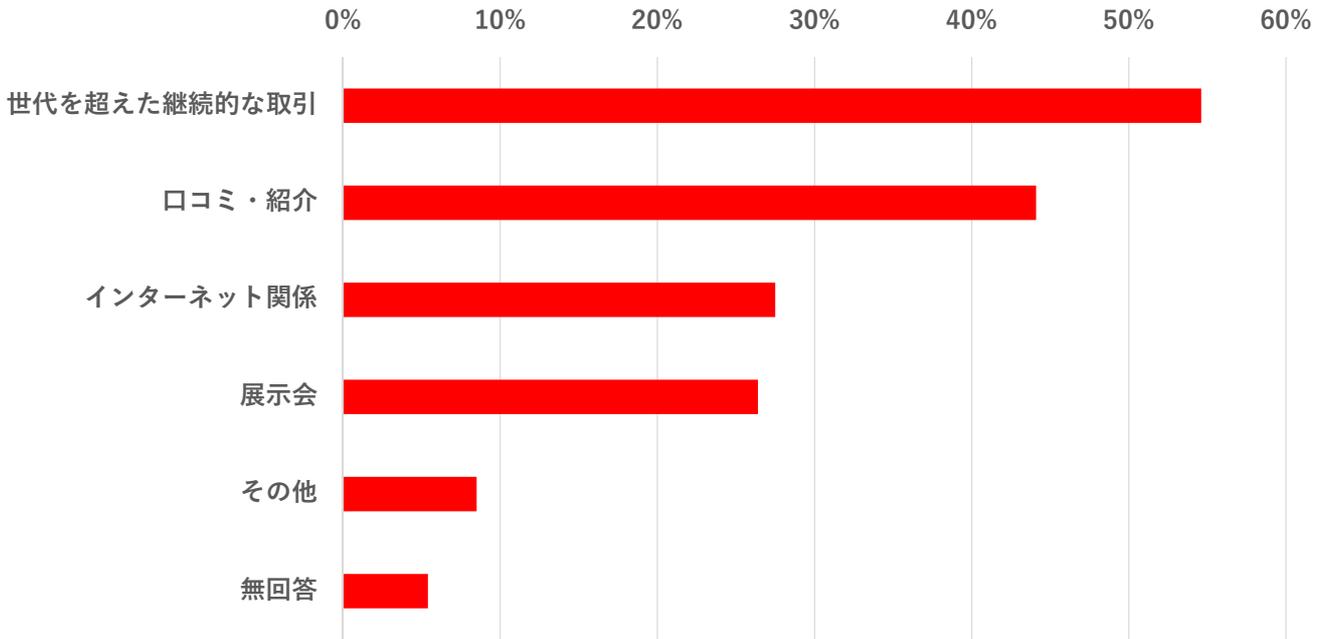
### 自らが保持する付加価値（得意技術等）に対し、仕事を適正価格で請け負っていると感じるか（回答数295）



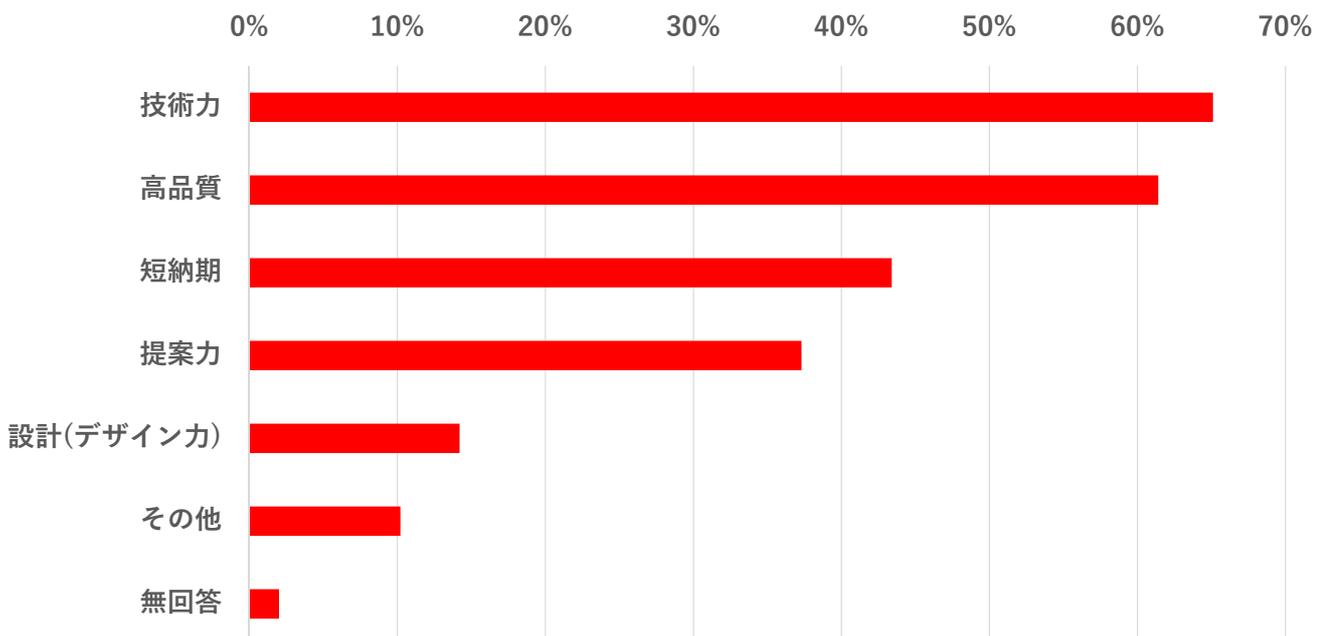
### 自らが保持する付加価値に対し適正価格を認めてくれる取引先（国内・海外）の全体の割合



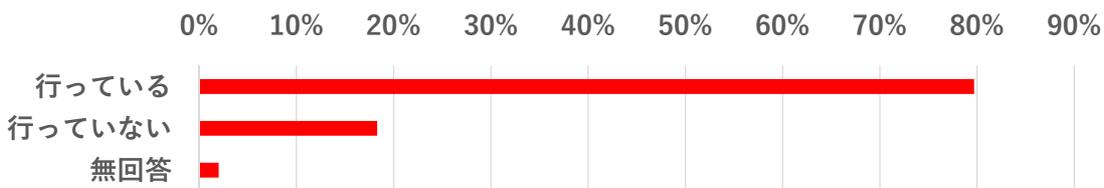
自社が保持する付加価値を認めてくれる取引先に出会ったきっかけ（複数回答可 回答数: 295）



自社が保持する付加価値（複数回答可 回答数: 295）



## 会社の付加価値向上に向けた取り組みを行っているかどうか (回答数: 295)



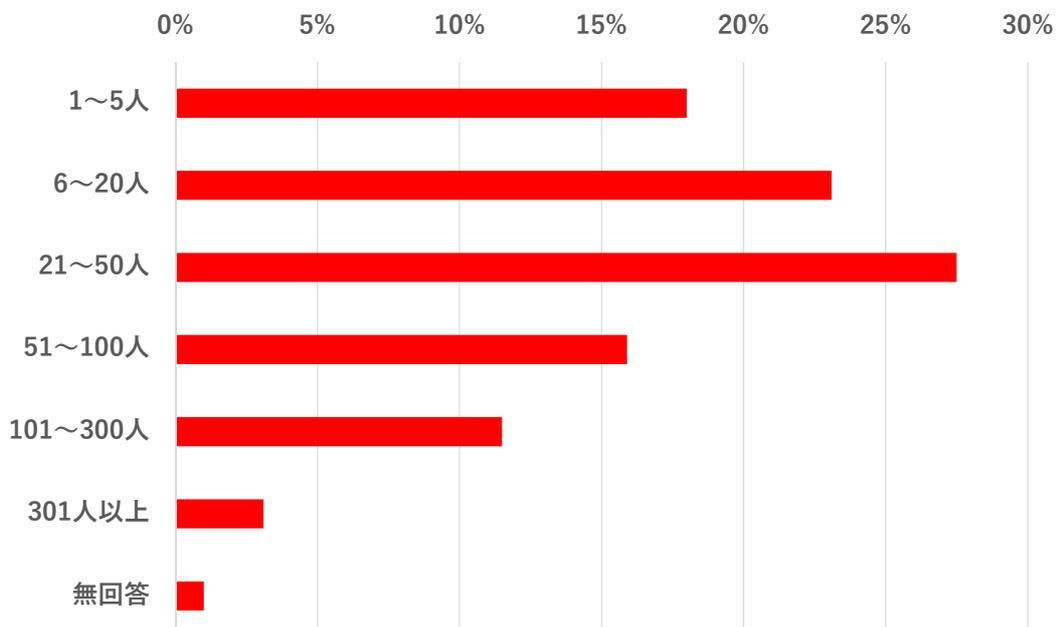
## Q4解決したい課題

前回に続き「教育」「省人化・効率化」に関しては半数近い会社が課題意識を抱えている。また、前回比で「助成金活用」や「WEBマーケティング」を課題に挙げた企業が増加している。今後もこのテーマをもう少し掘り下げ、具体的な取り組みの内容・企業事例などを会員企業各社と共有していきたいと考えている。



## アンケート回答者属性

### < 従業員規模 >



<業種>

